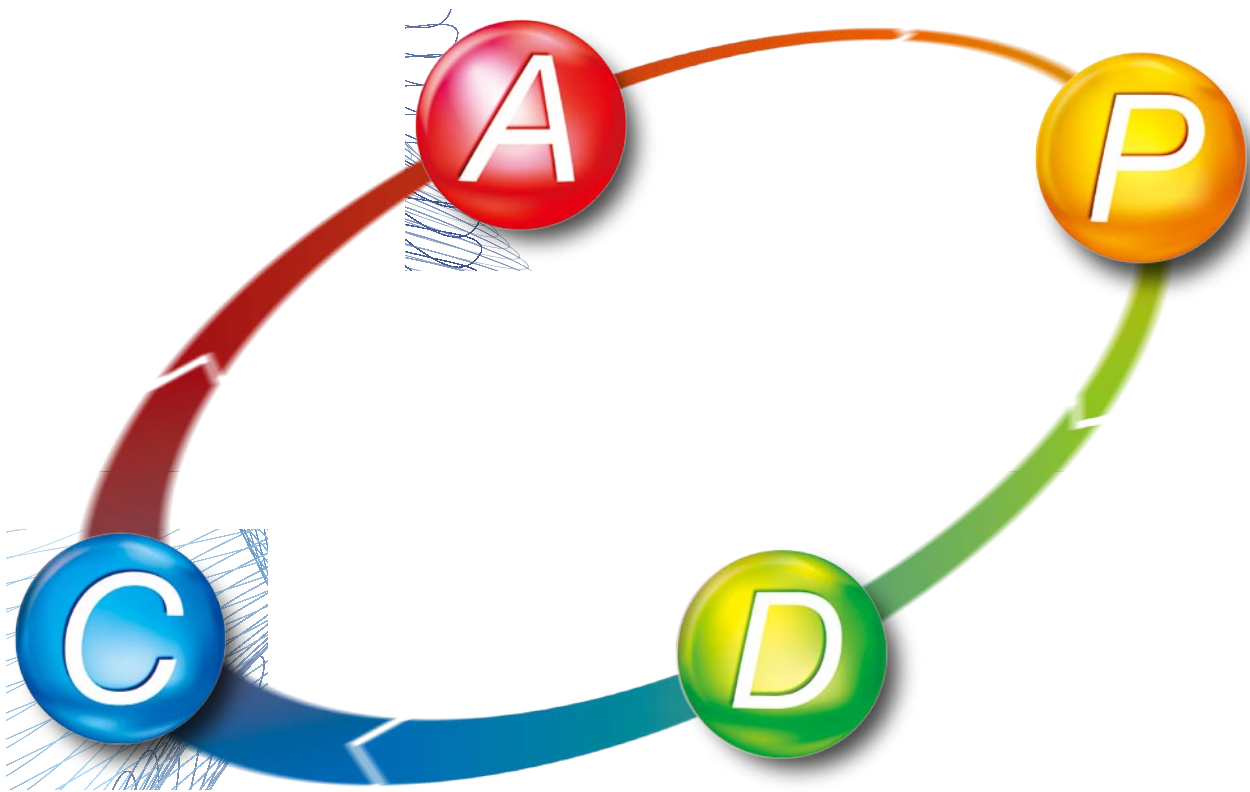


TKC継続MASシステム

Management Advisory Service

**毎期の黒字決算を実現するために
業績管理の仕組み作りをご支援します**



毎期の黒字決算を実現するために 業績管理の仕組み作りを ご支援します！

社長の夢(想い)を経営計画に落とし込み、企業の持続的発展に貢献します

特 長

「中期経営計画」の策定をご支援します。

- 『TKC経営指標』(BAST)の同業他社比較による貴社の現状分析
- 「商品戦略」「市場戦略」に基づく販売計画の立案
- 設備投資計画と借入金の調達・返済計画の立案
- 中小企業新事業活動促進法に基づく「経営革新計画の承認申請書」の作成

「短期経営計画」の策定をご支援します。

- 「中期経営計画」から、1年ごとの「短期経営計画」(損益予算)への落とし込み
- 経営者への「5つの質問」に基づく、簡易な「短期経営計画」(損益予算)の策定

四半期ごとの「業績検討会」の開催をご支援します。

- 目標達成(業績改善)に向けた「打ち手」の検討
- 期末の納税額の予測および決算対策(節税対策等)の検討

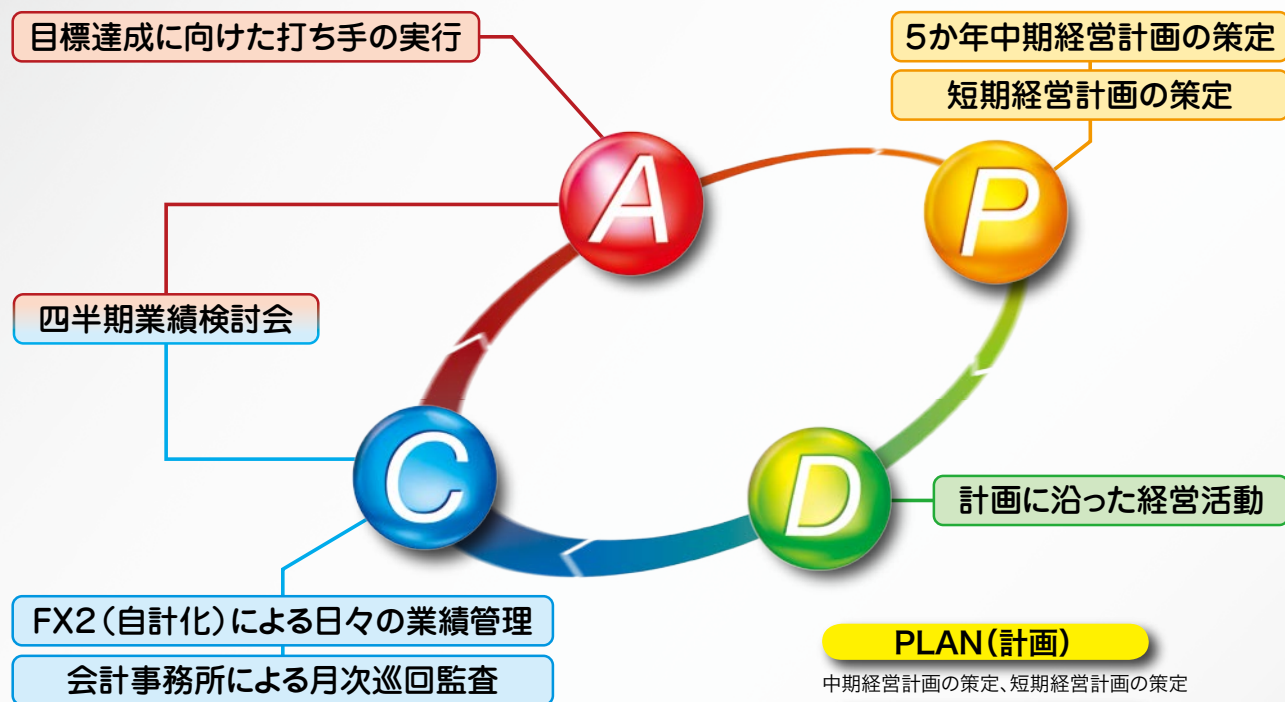
リアルタイムな業績管理をご支援します。

- 戦略財務情報システム(FXシリーズ)への予算登録によるリアルタイムな業績管理

創業者の夢を実現する「創業計画」の策定をご支援します。

- 創業者の事業構想を基にした「6か年創業計画書」の策定

黒字決算実現のための「PDCAサイクル」の定着をご支援します



毎期、黒字決算を実現するためには、業績管理(PDCA)メカニズムを社内に組み込むことが重要です。そのために、「中期経営計画」に基づく「短期経営計画」の策定および月次巡回監査に基づく計画と実績の検証をご支援します。さらに、問題点の発見・対策を検討する四半期ごとの「業績検討会」を実施し、業績管理体制の定着をご支援します。

PLAN(計画)

中期経営計画の策定、短期経営計画の策定

DO(実行)

選択と集中、実行、成果の拡大、迅速・正確な月次決算

CHECK(検証)

全社・部門別の予算実績差異分析と期末業績予測

ACTION(対策)

販売計画の見直し、固定費圧縮計画、戦略的決算対策

「TKC継続MASシステム」利用の流れ

経営理念に基づく経営戦略の確認

経営戦略に基づく「中期経営計画」策定

中期
経営計画

現状から見た将来像

- 貴社の進むべき方向を明らかにする
- 外部公表(ディスクロージャー)等
- 貴社の将来に対する現在の決定

「中期経営計画」に基づく「短期経営計画」策定

短期
経営計画

今を知るモノサシ

- 次期の目標を定める
- 予算管理等
- 今の行動の基準となる指針

業績管理体制の構築

業績
検討会

予算実績差異分析

- 迅速な月次決算と日次ベースでの業績管理
- 四半期ごとの業績検討会の開催
- 戦略的決算対策

TKC会計事務所による支援体制

第1四半期	1月目	
	2月目	決算報告会
	3月目	
第2四半期	4月目	第1四半期業績検討会
	5月目	
	6月目	
第3四半期	7月目	第2四半期業績検討会(中間決算)
	8月目	中期経営計画の策定
	9月目	
第4四半期	10月目	第3四半期業績検討会(決算検討会)
	11月目	短期経営計画策定
	12月目	短期経営計画書の作成と提供

月次巡回監査

「中期経営計画」の策定

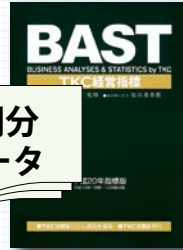
～現状から見た将来像～

「中期経営計画」により、貴社の進むべき方向性を明確にし、「いま何をなすべきか」を明らかにします。

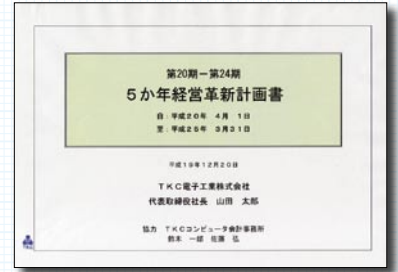
貴社の過去の財務データおよび同業他社と比較・分析を行い、貴社の強みと弱みを明確にします。そして貴社の経営理念、経営方針に基づいて、経営計画を策定していきます。



同業他社比較



過去3期分
財務データ



社長の想い

現状分析

具現化

同業他社比較により現状分析を行い、貴社の強みと弱みを明確にします

同業他社比較

第 3 次電子工業株式会社 期：中期決算書（現況分析）
 資料コード： 画面印刷(S) 業務別得意先単位(C) 電帳(C) *437(H)

総括 3期比較 モデル変更 構成比 企業格付 帳表印刷 STEP70- 計画期間:20年 4月~25年 3月

●同業黒字企業比較 [Z899:その他電子部品・デバイス・電子回路製造業(黒字中位G)]

変動損益 / 生産性分析				目標モデル		自社モデル		(単位:千円)	
行	項	目		目標額(A)	前期実績(B)	自社額(C)		削減目標(B-C)	
1	売	上	高	190,533	100.0	245,521	100.0		
2	委	仕	入	37,591	19.7	97,965	39.9	48,367	19.7
3	動	外	加	32,801	17.2	46,693	19.0	42,229	17.2
4	費	他	の	2,617	1.4	2,904	1.2	3,437	1.4
5								-533	-0.2
6	限	界	利	117,522	61.7	97,958	39.9	151,486	61.7
7	人	役	員	17,584	9.2	16,800	6.8	22,587	9.2
8	件	給	与	55,566	29.2	49,654	20.2	71,692	29.2
9	費	福	利	9,819	5.2	7,891	3.2	12,767	5.2
10	人	件	費	82,961	43.5	74,346	30.3	106,801	43.5
11	他	製	造	5,741	3.0	2,111	0.9	7,365	3.0
12	の	販	売	8,829	4.6	14,087	5.7	11,293	4.6
13	固	定	費	998	0.5	3,151	1.3	1,227	0.5
14	定	他	の	357	0.2	0	0.0	491	0.2
15	費	営	業	1,977	1.0	1,760	0.7	2,455	1.0
16	設	減	価	5,086	2.7	7,181	2.9	6,629	2.7
17	備	地	代	4,852	2.5	2,712	1.1	6,138	2.5
18	費	保	険	3,570	1.9	1,554	0.6	4,664	1.9
19	固	定	費	110,411	57.3	103,385	42.1	142,156	57.3
20	経	常	利	7,111	3.7	-5,428	-2.2	9,084	3.7

『TKC経営指標』(BAST)の「目標モデル」(黒字中位グループ、黒字企業平均、優良企業平均)を基に、**「自社モデル」**(貴社のあるべき姿)を導き出し、貴社の問題点を分析します。



「目標モデル」の構成比を貴社に当てはめて
「自社モデル」を計算します。

『TKC経営指標』(BAST)が貴社の同業他社比較に役立ちます

同業他社(黒字・優良企業)との比較には、『TKC経営指標』(BAST)を利用します。

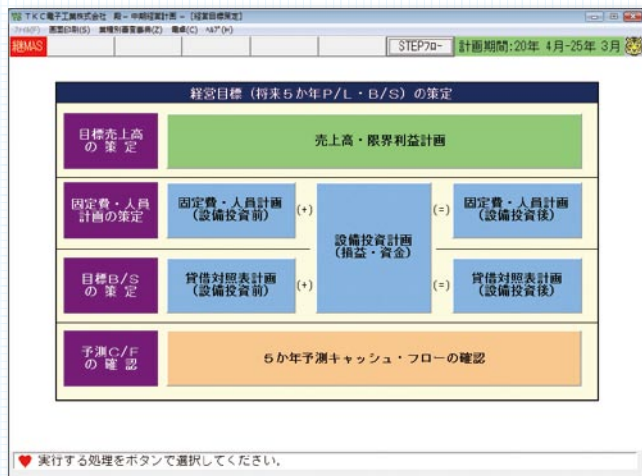
『TKC経営指標』（BAST）は、TKCシステムを2年以上継続利用している中小・中堅企業（年商100億円以下）の経営成績と財政状態を分析したものです。TKC会計人が毎月継続して実施した巡回監査と月次決算により作成された会計帳簿を基礎とし、そこから誘導された決算書（貸借対照表および損益計算書）を収録データとしています。

これだけの精度と速報性を持つ中小企業の経営指標は、世界にも類例がなく、税務当局、金融機関等から高く評価されています。

平成20年版収録企業数 ◆227,184社 ◆956業種



現状分析の結果を踏まえ、将来5か年の中期経営計画を策定します

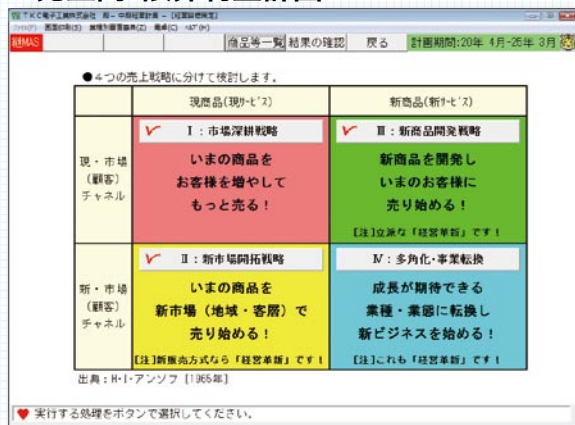


「現状分析」で確認した「**自社モデル**」を目標として、将来5か年の計画を策定します。

- ◎売上高・限界利益計画
- ◎土地購入、建物建設、機械設備購入等の設備投資計画
- ◎新規設備投資にかかる借入金返済計画

それぞれの計画策定の際には、具体的な
行動計画を立案します。

●売上高・限界利益計画



売上高・限界利益計画は、「Ⅰ：市場深耕戦略」「Ⅱ：新市場開拓戦略」「Ⅲ：新商品開発戦略」「Ⅳ：多角化・事業転換」の4つの切り口から戦略を立案します。

●設備投資計画

今後の具体的な設備投資計画を策定できます。

- ◎設備投資計画にかかる費用
- ◎経営革新(新たな取り組み)プロジェクトにかかる費用
- ◎資産の売却・除却等

5か年経営革新計画書

- ① 経営方針について
- ② 商品／市場戦略について
- ③ 成功の条件について
- ④ 5か年目標変動損益計算書
- ⑤ 5か年目標貸借対照表
- ⑥ 5か年予測キャッシュ・フロー計算書
- ⑦ 経営目標達成のための行動計画表
- ⑧ 借入金返済計画表
- ⑨ 売上高計画グラフ
- ⑩ 売上高・総費用推移グラフ
- ⑪ 自己資本推移グラフ
- ⑫ 株主資本推移グラフ
- ⑬ TKC経営指標(BAST)

中小企業新事業活動促進法に基づく
「経営革新計画の承認申請書」を作成することもできます。

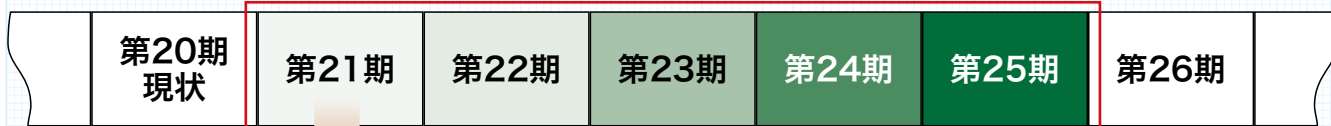


「短期経営計画」の策定 ～次年度予算、実行計画への落とし込み～

「中期経営計画」に基づき、「短期経営計画」を策定します。計画の策定にあたっては、「中期経営計画」で策定した目標損益を「短期経営計画」に落とし込みます。

「短期経営計画」から利用する場合には、経営者への「5つの質問」から簡単に計画を策定できます。

「中期経営計画」から「短期経営計画」への落とし込み



「中期経営計画(5か年)」の「初年度」を短期経営計画へ落とし込み、「予算」化します

第21期

短期経営計画

月別の損益計画(予算)および資金計画を策定し、次年度の業績管理に活用します。

経営者への「5つの質問」だけで、経営計画(予算)を簡単に策定することもできます。

「中期経営計画」を策定せずに、「短期経営計画」を単独で策定することもできます。

その場合は、経営者への「5つの質問」に答えることで、次期の基本計画(目標損益と経常収支の計画)を策定できます。

経営者への「5つの質問」

- Q1.次期の目標経常利益は?
- Q2.次期の売上高の伸びは?
- Q3.次期の限界利益率(粗利益率)は?
- Q4.次期の従業員給与・賞与は?
- Q5.次期の期末の人数(役員含む)は?

「5つの質問」への回答を基に
次期の目標変動損益計算書を導き出します。

項目	第21期計画(A)	目標設定	第20期実績(B)	差額(A-B)	前年比
1 売上高	252,717	100.0	247,791	103.0	4,926
2 売上高(含む運賃)	90,472	35.8	88,550	35.7	1,922
3 売上高(含む運賃)	42,979	17.4	42,036	17.4	943
4 売上高(含む運賃)	2,022	0.8	1,994	0.8	28
5 限界利益率	115,250	45.6	114,142	45.1	2,107
6 人件費	15,134	6.0	14,802	6.0	332
7 役員報酬・賞与	43,805	19.3	43,805	19.3	0
8 役員報酬・賞与	7,298	2.9	7,210	2.9	88
9 人件費	71,236	28.2	70,612	28.0	624
10 販売費	2,238	0.9	2,238	0.9	0
11 販売費	13,135	5.2	13,135	5.2	0
12 固定費	3,293	1.3	3,293	1.3	0
13 固定費	481	0.2	481	0.2	0
14 固定費	1,552	0.6	1,552	0.6	0
15 固定費	9,985	3.9	9,985	3.9	0
16 固定費	2,850	1.1	2,850	1.1	0
17 固定費	1,744	0.7	1,744	0.7	0
18 固定費	100,250	39.7	99,812	39.5	437
19 固定費	15,000	5.9	14,330	5.6	670

必要資金(借入金要返済額等)から、次期の「目標経常利益」を試算します

項目	第21期計画	備考
1 短期借入金の返済	1,500	
2 長期借入金の返済	3,600	
3 小計①	5,100	
4 剰余金の配当	1,350	
5 小計②	4,750	
6 繰上償還	2,200	
7 小計③	2,200	
8 必要資金(①+②+③)	13,150	
9 固定費	9,110	
10 社内借入金	2,000	
11 目標経常利益(12-13-14)	9,330	
12 繰上償還	40.0	
13 法人税等実効税率(%)	40.0	
14 必要経常利益	15,700	

借入金の要返済額等「今後、必要となる資金額」から、必要となる次期の「目標経常利益」を試算することができます。



●より詳細な経営計画の策定もご支援します。

商品・得意先別の販売計画や設備投資計画などを策定し、計画をより詳細に練り上げることもできます。

①利益計画

- ◎勘定科目別の積み上げ計画
- ◎商品別・得意先別の売上高計画
- ◎個人別の人件費計画
- ◎部門別利益計画

②設備投資計画

- ◎新規設備投資計画
- ◎既存借入金返済計画
- ◎新規借入金返済計画

③資金繰り計画

- ◎経常収支計画
- ◎財務等収支計画

短期経営計画書

次期の目標を達成するための具体的な行動計画を文書でまとめ、「短期経営計画書」を完成させます。

- ① 経営基本方針書
- ② 重点課題
- ③ 目標売上高と行動計画
- ④ 目標変動損益計算書
- ⑤ 目標損益計算書
- ⑥ 部門別利益計画表
- ⑦ 商品・得意先別売上高計画表
- ⑧ 資金繰り計画表
- ⑨ 予測貸借対照表

「短期経営計画」策定後は、四半期ごとに業績検討会を開催し、計画と実績の差異を検証します。
そして、その原因と今後の打ち手を検討します。

「業績検討会」の開催 ～経営計画を「絵に描いた餅」にしないために～

策定した短期経営計画(予算)について、四半期ごとに業績検討会を開催し、毎月の月次決算に基づく実績との差異を検証します。また、第3四半期業績検討会では、期末までの業績予測に基づいて、業績改善対策シミュレーションと納税予測を含めた「戦略的決算対策」をご支援します。

第1・第2四半期業績検討会

●予算実績差異分析

計画と実績を比較・検討し、現状の問題点の発見と、その対策を検討します。

最新の月次決算に基づく、変動損益計算書の確認

株式会社 T K C 電子工業株式会社 経理部 業績検討会 - [予算差異分析]

※印刷時: 画面の表示: 電帳(C) ※A7(H)

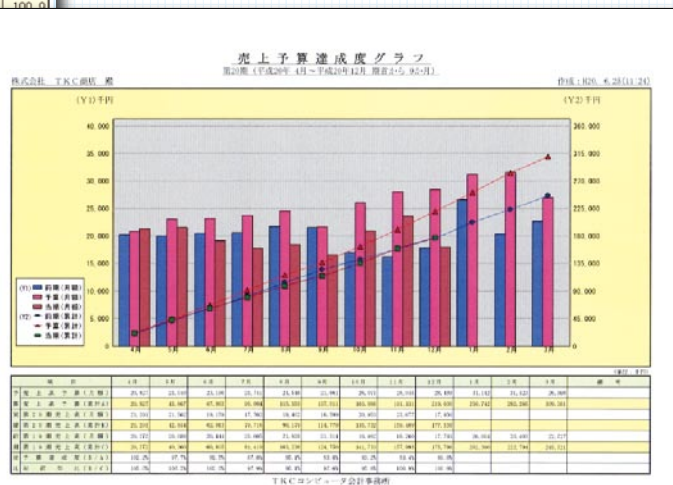
総MAS 当月比較 A表:売上高 グラフ確認 帳表印刷 STEP70- 事業年度:20年4月~21年3月

●総括表 平成20年12月(期首から9か月) (単位:千円)

行	項目	当期	前年同期	対比	前年同期	対比
1	純売上高	177,359	100.0	219,600	100.0	80.8
2	期首たな卸高	14,563	8.2	14,563	6.6	100.0
3	仕入高	69,064	38.9	73,235	33.3	94.3
4	外注加工費	33,244	18.7	34,238	15.6	97.1
5	他の変動費	1,515	0.9	639	0.3	237.1
6	月末たな卸高(△)	14,826	8.4	14,655	6.7	101.2
7	共通原価配賦					
8	変動費合計	103,560	58.4	108,020	49.2	95.9
9	限界利益	73,798	41.6	111,580	50.8	89.1
10	人件費	51,818	29.2	53,586	24.4	96.7
11	他の固定費	13,161	7.4	12,520	5.7	105.1
12	部門固定費計	64,980	36.6	66,106	30.1	99.3
13	部門達成利益	8,818	5.0	45,474	20.7	19.4
14	設備費	7,831	4.4	8,577	3.9	91.3
15	部門貢献利益	987	0.6	36,897	16.8	2.7
16	共通固定費配賦					
17	部門貢献利益(配賦後)	987	0.6	36,897	16.8	2.7
18	たな卸高増減(△)					
19	固定費合計	72,811	41.1	74,683	34.0	97.5
20	経常利益	987	0.6	36,897	16.8	2.7

科目別の内訳を確認する項目を「行番号」ボタンで選択してください。

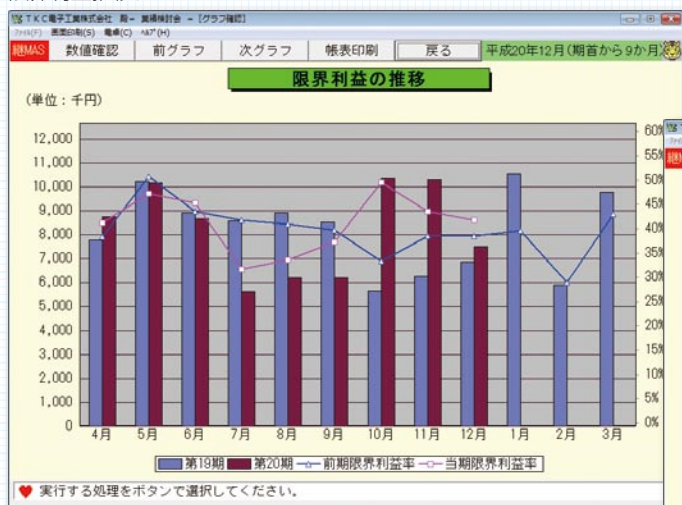
売上予算達成度グラフ



●グラフ分析による業績確認と問題点発見

29種類のグラフにより、様々な角度から業績を検証し、問題点を発見します。

限界利益推移グラフ



生産性分析(レーダーチャート)



前年比較および『TKC経営指標』(BAST)比較により、業績を確認できます。

●期末業績予測(このままなら、こうなる可能性)

最新実績を基に、期末までの業績予測シミュレーションを行います。

期末業績の予測

●現状での期末業績の予測 (単位: 千円)

行	項 目	当期実績(A) (20. 4 - 20. 12)	未経過月の予測(B) (21. 1 - 21. 3)	当期決算の予測 (A + B)	前年比	予算比
1	純 売 上 高	177,359	59,130	236,489	100.0	96.3
2	期 首 た な 卸 高	14,563	14,826	29,389	6.2	115.3
3	仕 入 高	69,064	23,129	92,193	39.0	92.3
4	外 注 加 工 費	33,244	11,133	44,377	18.8	95.0
5	他 の 変 動 費	1,515	507	2,022	0.9	69.6
6	月末たな卸高(△)	14,826	14,827	29,653	6.3	101.8
7	変 動 費 合 計	103,560	34,768	138,328	58.5	93.7
8	限 界 利 益	73,798	24,362	98,160	41.5	100.2
9	人 件 費	51,818	17,402	69,220	29.3	93.1
10	他 の 固 定 費	13,161	4,130	17,291	7.3	98.3
11	設 備 費	7,831	2,586	10,417	4.4	91.8
12	たな卸高増減(△)					
13	固 定 費 合 計	72,811	24,118	96,929	41.0	93.8
14	経 常 利 益	987	244	1,231	0.5	85.0
15	【固定費要圧縮額】	88	129	217	0.1	
16	【戦略予備費】					
17	目 標 経 常 利 益	1,076	373	1,449	0.6	100.0

当月までの実績 +期末までの予測 =期末の着地点

●「未経過月の予測(B)」の予測条件を変更する場合は「予測条件変更」ボタンを選択してください。

期末の経常利益の予測額が目標を下回る場合は「固定費要圧縮額」、目標を上回る場合は「戦略予備費」の欄に金額が表示されます。

【固定費要圧縮額】

目標経常利益を確保するために、圧縮しなければならない経費の額を表示します。

【戦略予備費】

期末までに、社長の意思決定により戦略的に活用できる予備費を表示します。

業績改善対策シミュレーション

●未経過月の予測データの入力

年月	実績(第20期)	予算(第20期)	対比
20. 4	8,495	8,882	95.7
20. 5	8,847	9,288	95.3
20. 6	9,208	9,696	95.0
20. 7	9,140	9,596	95.3
20. 8	10,312	10,821	95.3
20. 9	7,167	7,554	94.9
20.10	9,993	9,391	106.4
20.11	10,655	12,250	87.0
20.12	9,812	10,311	95.2
21. 1	13,000	12,658	102.7
21. 2	13,100	11,126	117.7
21. 3	12,700	10,916	116.3
合計	122,433	122,497	99.9
平均	10,202	10,208	99.9

1. 戦略商品(○●商品)の重点販売
月一回の販促キャンペーンの実施

●「未経過月の予測(B)」の値を入力してください。(入力方法は「入力方法変更」ボタンで変更できます。)

現状の業績予測を受けて、目標利益を達成するためにどのような打ち手があるかを検討します。

第3四半期業績検討会／決算対策

●「納税予測」と「戦略的決算対策」

節税対策・利益確保対策

節税対策			利益確保対策
A 人件費関連の対策 -臨時・決算賞与の支給 -役員報酬の見直し -役員退職金の支払い -社員の教育研修の実施 -社内旅行の実施	C 減価償却資産の対策 -減価償却資産の購入 -不要な償却資産の処分	E 保険による対策 -生命保険の見直し -損害保険の見直し -倒産防止共済の加入	G 利益確保の対策 -株式の処分 -土地の処分 -含み益ある資産の処分 -役員報酬の減額 -広告宣伝の中止 -交際費等の節減 -家賃の値下げ交渉 -保険契約の見直し -借入金の借換え -経費の先送り
B その他固定費対策 -30万円未満の備品購入 -修繕等の前倒し実施 -広告宣伝の実施 -役員借入金利息の計上 -次期販促の前倒し実施 -短期の前払費用	D 資産整理による対策 -不良債権の処分 -不良在庫の処分	F 引当金による対策 -貸倒引当金の計上	

● 節税対策については、【A】～【F】のボタン、利益確保の対策については、【G】ボタンを選択してください。
なお、上記にない対策は、空欄を活用して入力できます。

● 入力する対策を【A】～【G】のボタンから選択してください。

決算予測と納税額の試算に基づいて、決算までに間に合う具体的な決算対策を検討できます。

黒字なら⇒節税対策

赤字なら⇒利益確保のための対策

対策を検討した結果、「いくら利益が圧縮されたか」または「いくら節税になったか」を確認できます。

策定した短期経営計画(予算)は戦略財務情報システム(FXシリーズ)に登録することで、最新実績と比較した予算の達成状況をいつでも確認できます。これにより、全社および部門別の業績を迅速・正確に把握し、問題点を発見できるため、業績改善のための打ち手を早期に検討できます。

FX2「全社業績の問合せ」

全社業績の問合せ									
売上速報 変動損益 業績評価 貸借対照表 ファイル切出 プレビュー 印刷開始 本日:平成20年6月30日(月)									
行	項目	当期	構成比	前期との比較	前期との比較	前期との比較	前期との比較	前期との比較	前期との比較
1	純売上高	511,883	100.0	508,526	100.0	510,497	100.0	510,497	100.0
2	期首たな卸高	43,189	8.4	28,451	5.6	49,480	9.7	49,480	9.7
3	仕入高	227,088	44.4	236,432	46.5	227,380	44.5	227,380	44.5
4	外注加工費	87,167	17.0	100,074	19.7	90,000	17.6	90,000	17.6
5	他の変動費	3,666	0.7	3,645	0.7	3,645	0.7	3,645	0.7
6	月末たな卸高 (Δ)	21,740	4.2	23,512	4.6	25,000	4.9	25,000	4.9
7	共通原価配賦		0.0		0.0		0.0		0.0
8	変動費合計	339,371	66.3	345,092	67.9	341,860	67.0	341,860	67.0
9	限界利益	172,512	33.7	163,434	32.1	168,637	33.0	168,637	33.0
10	人件費	56,014	10.9	54,330	10.7	56,014	10.9	56,014	10.9
11	他の固定費	61,092	11.9	54,014	10.6	61,092	11.9	61,092	11.9
12	部門固定費計	117,107	22.9	108,345	21.3	115,118	22.6	115,118	22.6
13	部門達成利益	55,405	10.8	55,088	10.8	53,519	10.5	53,519	10.5
14	設備費	10,177	2.0	9,635	1.9	10,177	2.0	10,177	2.0
15	部門貢献利益	45,227	8.8	45,453	8.9	45,227	8.8	45,227	8.8
16	共通固定費配賦		0.0		0.0		0.0		0.0
17	部門貢献利益 (配賦後)	45,227	8.8	45,453	8.9	45,227	8.8	45,227	8.8
18	たな卸高増減 (Δ)	-3,242	-0.6	-1,868	-0.4				
19	固定費合計	130,527	25.5	119,839	23.6	141,279	27.7	141,279	27.7
20	経常利益	41,985	8.2	43,595	8.6	27,358	5.4	27,358	5.4

FX2は、「当期」「前期」「予算」の3つの数字を一画面で要約表示し、問題点の早期発見をご支援します。

●部門別業績管理

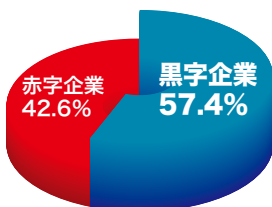
TKC継続MASシステムで策定した部門別予算を基に、経営者や部門責任者が予算の進捗状況をタイムリーに把握できます。

全社の最新業績									
全社 売上速報 変動損益 業績評価 貸借対照表 ファイル切出 プレビュー 印刷開始 本日:平成20年6月30日(月)									
行	項目	当期	構成比	前期との比較	前期との比較	前期との比較	前期との比較	前期との比較	前期との比較
1	純売上高	511,883	100.0	508,526	100.0	510,497	100.0	510,497	100.0
2	期首たな卸高	43,189	8.4	28,451	5.6	49,480	9.7	49,480	9.7
3	仕入高	227,088	44.4	236,432	46.5	227,380	44.5	227,380	44.5
4	外注加工費	87,167	17.0	100,074	19.7	90,000	17.6	90,000	17.6
5	他の変動費	3,666	0.7	3,645	0.7	3,645	0.7	3,645	0.7
6	月末たな卸高 (Δ)	21,740	4.2	23,512	4.6	25,000	4.9	25,000	4.9
7	共通原価配賦		0.0		0.0		0.0		0.0
8	変動費合計	339,371	66.3	345,092	67.9	341,860	67.0	341,860	67.0
9	限界利益	172,512	33.7	163,434	32.1	168,637	33.0	168,637	33.0
10	人件費	56,014	10.9	54,330	10.7	56,014	10.9	56,014	10.9
11	他の固定費	61,092	11.9	54,014	10.6	61,092	11.9	61,092	11.9
12	部門固定費計	117,107	22.9	108,345	21.3	115,118	22.6	115,118	22.6
13	部門達成利益	55,405	10.8	55,088	10.8	53,519	10.5	53,519	10.5
14	設備費	10,177	2.0	9,635	1.9	10,177	2.0	10,177	2.0
15	部門貢献利益	45,227	8.8	45,453	8.9	45,227	8.8	45,227	8.8
16	共通固定費配賦		0.0		0.0		0.0		0.0
17	部門貢献利益 (配賦後)	45,227	8.8	45,453	8.9	45,227	8.8	45,227	8.8
18	たな卸高増減 (Δ)	-3,242	-0.6	-1,868	-0.4				
19	固定費合計	130,527	25.5	119,839	23.6	141,279	27.7	141,279	27.7
20	経常利益	41,985	8.2	43,595	8.6	27,358	5.4	27,358	5.4

第一営業部									
第一営業部 売上速報 変動損益 業績評価 貸借対照表 ファイル切出 プレビュー 印刷開始 本日:平成20年6月30日(月)									
行	項目	当期	構成比	前期との比較	前期との比較	前期との比較	前期との比較	前期との比較	前期との比較
1	純売上高	200,285	100.0	203,536	100.0	204,100	100.0	204,100	100.0
2	期首たな卸高	0.0	0.0	0.0	0.0	19,480	9.5	19,480	9.5
3	仕入高	11,796	5.9	15,336	7.5	16,222	8.4	16,222	8.4
4	外注加工費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	他の変動費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	月末たな卸高 (Δ)	191,649	96.8	124,170	61.0	90,791	44.5	90,791	44.5
7	共通原価配賦		0.0		0.0		0.0		0.0
8	変動費合計	12,801	6.4	15,336	7.5	16,222	8.4	16,222	8.4
9	限界利益	187,484	93.6	188,200	92.5	187,878	91.5	187,878	91.5
10	人件費	4,759	2.4	5,084	2.5	4,759	2.3	4,759	2.3
11	他の固定費	5,077	2.5	5,084	2.5	5,077	2.5	5,077	2.5
12	部門固定費計	9,836	4.9	10,168	5.0	9,836	4.8	9,836	4.8
13	部門達成利益	177,648	88.7	173,032	84.6	178,042	87.2	178,042	87.2
14	設備費		0.0		0.0		0.0		0.0
15	部門貢献利益	177,648	88.7	173,032	84.6	178,042	87.2	178,042	87.2
16	共通固定費配賦		0.0		0.0		0.0		0.0
17	部門貢献利益 (配賦後)	177,648	88.7	173,032	84.6	178,042	87.2	178,042	87.2
18	たな卸高増減 (Δ)	-3,242	-0.6	-1,868	-0.4				
19	固定費合計	130,527	25.5	119,839	23.6	141,279	27.7	141,279	27.7
20	経常利益	41,985	8.2	43,595	8.6	27,358	5.4	27,358	5.4

部門業績について、その業績の原因と業績改善のための打ち手を検討できます。

『TKC経営指標』(BAST)のデータで見る黒字企業割合



「TKC継続MASシステム」と「FX2」を利用している企業は、57.4%が黒字決算を実現しています。

平成20年版収録法人数 227,184法人

新しく事業を始める方のための「創業計画」の策定をご支援します。

●同業他社比較による目標の分析

自営/専業 YYY株式会社 決算書(第X期) (単位:百万円)							
(注)Y=売上高 X=当期純利益 Z=期末総資産							
●A06	モデル変更		構成比	帳票印刷	戻る	第1-6期: 20. 8 - 25. 12	
●黒字営業上企業比較 [E793]: 片品卸売、小物物小売業(黒字中位G)							
変動勘定				発生性分析		貸対照表	(単位:千円F)
				達成目標:		第6年度(第6期)	
行	項目	前年比(A)	目標率(B)	自己計(C)	削減目標(D)		
1	先 立 金	103,635	100.0	100,000	100.0	-3,635	
2	(前 年 比)	97.8%		117.6%		+19.8%	
3	変動勘合合計	59,422	57.3	57,000	57.0	57,300	57.3
4	限界利益合計	44,272	42.7	43,000	43.0	42,700	42.7
5	人件費割合	0,730	0.4	4,800	4.8	9,400	9.4
6	仕入税・輸送料	11,309	10.9	13,800	13.8	10,900	10.9
7	賃料利用厚生費等	2,275	2.2	2,790	2.8	2,200	2.2
8	人件費合計	23,315	22.5	21,360	21.4	22,500	22.5
9	販売経理原価	72	0.1	0	0.0	100	0.1
10	他販経理原価	12,430	12.0	4,200	4.2	12,600	12.0
11	固定支払利息・割引損	56	0.1	600	0.5	0	0.0
12	固定支払利息費用	974	0.6	0	0.0	100	0.1
13	固定支払利息費用	1,331	1.3	0	0.0	1,300	1.3
14	設備価値償却費	1,359	1.3	403	0.4	1,300	1.3
15	地産地消・資材費	5,447	5.3	5,400	5.4	5,300	5.3
16	製造燃料・修繕費	1,170	1.1	0	0.0	1,100	1.1
17	固定費合計	43,151	41.6	31,449	31.4	41,800	41.8
18	経常利益合計	1,111	1.1	11,501	11.6	1,100	1.1
19	平均収益率	8.1%		6.8%		7.8%	

♥ 自社計「B」(Cで売上×Aで構成)を確認してください。

創業者の事業構想を基に策定した計画書を、『TKC経営指標』(BAST)の企業モデル(黒字中位グループ、黒字企業平均、優良企業平均)と比較し、計画の妥当性を検討します。

●売上高計画の立案

販売予定表 F1C(総括) 集 - 新年度計画書 [国産野菜振興法]
(年次別)
高松市(佐) 坂井町(香良島内) 追分(C) >B7(B)

H28AS				全社合計	戻る	第 1-6 組 : 20_8 - 25_12	※
-------	--	--	--	------	----	------------------------	---

●商品グループ別売上高計画 (単位：円)

行	商品グループ名	単 位	販 売 単 価	仕 入 単 価	粗 利 益	粗 利 益 率	販 売 予 定 計 画					
							1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
1	A 浜産品グループ	個	4,500	2,500	2,000	44.4						
2	B 庄産品グループ	個	5,000	2,460	2,540	50.8						
3	C 庄産品グループ	個	4,600	2,450	2,350	49.0						
4	D 庄産品グループ	個	3,200	1,660	1,340	41.9						
5	E 庄産品グループ	個	4,800	2,380	2,440	50.8						
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												

♥実行する処理をボタンで選択してください。

「売上高計画」では、「誰に(得意先)、いくらで(売値)、何個(数量)、どれくらい利幅(粗利益)をとって販売するのか」を検討し、商品グループ別の販売計画を立案できます。

創業計画書

- ① 経営方針について
- ② 商品／市場戦略について
- ③ 成功の条件について
- ④ 創業者プロフィール
- ⑤ 6か年目標変動損益計算書
- ⑥ 6か年目標貸借対照表書
- ⑦ 6か年予測キャッシュ・フロー計算書
- ⑧ 経営目標達成のための行動計画表
- ⑨ 借入金返済計画表
- ⑩ 売上高計画グラフ
- ⑪ 売上高・総費用推移グラフ
- ⑫ 自己資本推移グラフ
- ⑬ 株主資本推移グラフ
- ⑭ TKC経営指標(BAST)



創業年度+5年の「6か年計画」を立てることができます。

「TKC全国会」の支援体制

●「TKC全国会」ホームページ



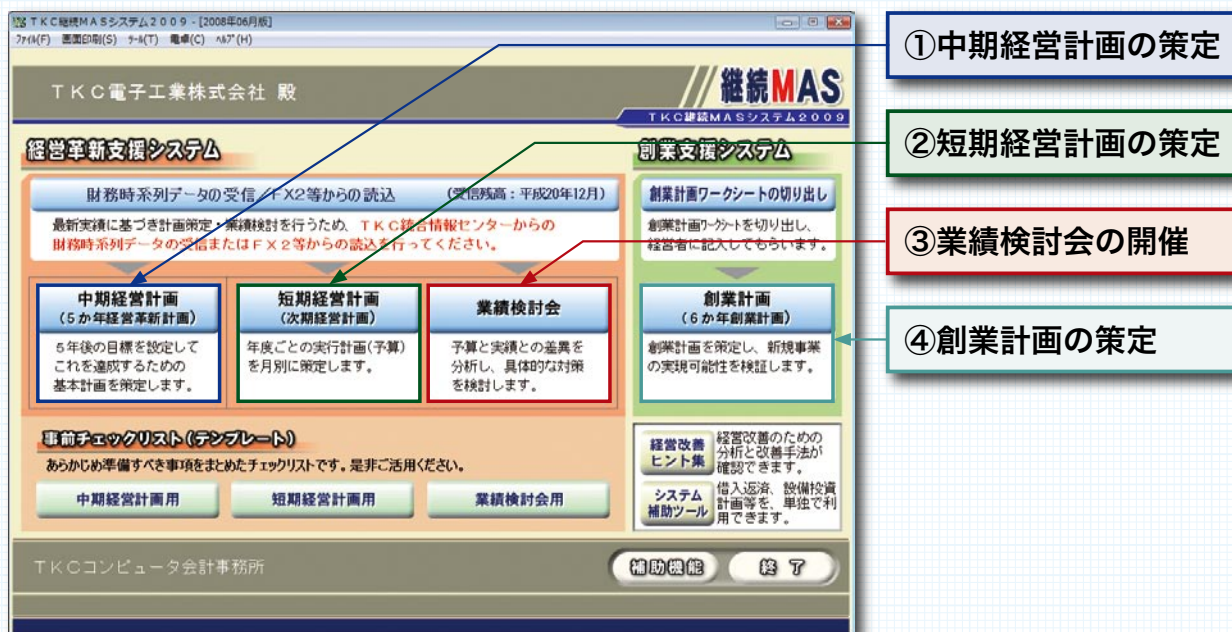
全国の職業会計人(税理士・公認会計士)で組織するTKC全国会は、中小企業の創業・経営革新を支援しています。



(<http://www.tkcnf.or.jp/>)

「TKC継続MASシステム」でご支援します！

TKC継続MASシステムは、経営者のビジョンに基づいた中期経営計画と、次年度の業績管理のための短期経営計画の策定をご支援します。さらに、計画と実績の検証を継続的に実施し、問題点の発見・対策を検討する業績検討会や戦略的決算対策の開催により、貴社のPDCAメカニズム構築をご支援するTKC会計事務所専用のシステムです。



TKC継続MASシステムのラインアップ

「TKC継続MASシステム」は、一般法人用だけでなく次のラインアップを取り揃えています。

●個人事業者用／継続MASシステム

個人事業者を対象として、「所得税納税額試算」機能や「法人成りシミュレーション」機能を搭載しています。

●医業会計DB用／継続MASシステム

「医業会計データベース（MX）」利用の医療機関を対象として、複数経理区分をまとめた医療機関単位で、短期経営計画の策定、予算実績差異分析、戦略的決算対策シミュレーション等が行えます。

●建設業用／継続MASシステム

建設業者を対象として、「建設業用会計情報データベース（DAIC）」との連動機能、工事別の完成工事高・完成工事原価の計画策定機能、経審対策シミュレーション機能等を搭載しています。

当システムは、TKC会計事務所専用のシステムです。

株式会社TKC

〒162-8585 東京都新宿区揚場町2-1 軽子坂MNビル5F
TEL:03-3235-5511
URL:<http://www.tkc.co.jp/>